



【新幹線定期報告】

令和2年10月15日  
新幹線事業対策室

1. 概況 (九州新幹線西九州ルートの進捗)

令和2年9月末時点での工事進捗および用地進捗状況は下記のとおりとなっている。

○工事進捗状況 (武雄温泉・長崎間) (R2.9月末時点)

区分	進捗状況					備考
	県別	工種	工事延長 (km)	完成延長 (km)	完成率	
土木工事	佐賀県	トンネル	9.0	9.0	100%	トンネル9本 全て貫通・完成
		明かり	8.8	8.8	100%	
		合計	17.8	17.8	100%	
	長崎県	トンネル	32.0	32.0	100%	トンネル22本 全て貫通・完成
		明かり	17.2	17.2	100%	
		合計	49.2	49.2	100%	
	合計	トンネル	41.0	41.0	100%	トンネル31本 全て貫通・完成
		明かり	26.0	26.0	100%	
		合計	67.0	67.0	100%	
建築工事	駅舎工事	新大村駅	鉄骨組立や屋根の施工が完了し、外壁や内装などを 施工中			
		諫早駅	鉄骨組立や外壁、屋根の施工が完了し、内装などを 施工中			
		長崎駅	7月より駅舎の鉄骨組立中			
	その他	新幹線設備が入る施設や大村車両基地における建築工事を実施中				
軌道工事	レール敷設はルート全体で約35km、約52%が完了(長崎県内は約36%が完了) 列車を安全に走らせるための設備であるATC装置(自動列車制御装置)等の 工場製作が完了し、10月より各信通機器室へ装置の搬入を開始する予定 (ルート全体の電気工事進捗率は約39%)					
電気工事	諫早駅のエレベーター設置工事に着手しており、10月からは新大村(仮称)駅の エスカレーターの土台設置工事に着手予定					
機械工事	大村 車両基地					
大村 車両基地	造成工事が終わっており、基地内の建物の建築工事を実施中 レール敷設工事や、電気施設工事、機械設置工事なども順次実施中					

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものであり、四捨五入により計が合わない場合がある。  
 ※土木工事における「明かり」とは、高架橋・橋りょう・路盤の区間のことである。また、完成延長とは、トンネルは  
 覆工完了長、高架橋・橋りょうはスラブコンクリート完了長、路盤は施工基面完了長としている。  
 ※電気工事の完成率は、設備の設置が完了した率を示しているが、最終的には諸試験の合格をもって、工事完了となる。  
 ※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

○用地取得実績 (長崎県内) (R2.9月末時点)

長崎県全体	東彼杵町	大村市	諫早市	長崎市	全体
取得予定面積 (地上権設定含む)	7.7 ha	33.8 ha	18.9 ha	10.2 ha	70.5 ha
取得済面積 (地上権設定含む)	7.7 ha	33.6 ha	18.8 ha	10.0 ha	70.1 ha
進捗率	100%	99%	99%	98%	99%

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものであり、四捨五入により計が合わない場合がある。  
 ※買取予定面積は、用地丈量、設計、協議の進捗に伴い変更を行う。

## 2. 入札公告・結果

令和2年9月16日から10月14日までに、委託4件（長崎県2件、両県にまたがるもの1件、佐賀県1件）の入札公告が行われた。また、委託3件（長崎県2件、両県にまたがるもの1件）の入札が行われた。

## 3. 本線土木工事の完成 及び 開業時期の公表

令和2年9月23日、諫早市宇都町付近にて行われていた宇都橋りょうのスラブコンクリート打設が完了したことにより、**西九州ルートの本線土木工事の完成率が100%**となった。本線土木工事の完成率は100%となったが、今後も引き続き、土木の付帯工事は続けられる。

また、鉄道・運輸機構とJR九州は9月24日に、「**西九州ルートの完成・開業時期は令和4年度秋頃**となる見通し」と公表した。完成・開業に向けて、引き続き、駅舎等の建築工事や軌道・電気工事などが行われる。

（写真提供：鉄道・運輸機構）



スラブコンクリート打設完了状況



スラブコンクリート打設状況



諫早市の御館山から見た新幹線の様子

